

令和5年度 富来小学校教育目標及び教育方針（経営ビジョン）

I 学校教育目標 「ふるさとに学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

(1) めざす学校像 「保護者や地域の期待に応え、子どもが安心して学べる学校」

- ①子どもたちの笑顔が溢れ、「大好きな富来小学校」と誇れる学校
- ②子どもたちが、楽しく主体的に安心して学べる学校
- ③保護者、地域と連携し、信頼される学校

(2) めざす児童像 「笑顔いっぱい」の富来っ子

- ① 進んで学ぶ子 → 自ら考え、主体的に学び、行動する子
- ② 規範意識のある子 → 相手の立場や考えを理解し、集団で協働する子
- ③ たくましい子 → 健康な体と心を持ち、最後までやり抜く子
- ④ しっかり伝える子 → 場に応じて自分の思いを素直に表現しようとする子

かしこく **本気** なかよく **笑顔** たくましく **根気**

(3) めざす教師像 「自覚と使命感のあるプロ教師」

- ①一人一人を大切にし、児童、保護者に信頼される教職員
- ② 教育目標の具現化に向けて組織的に取り組む教職員
- ③自らの指導力向上を図り、互いに高め合い協力し合う教職員
- ④地域の方と連携し、地域を愛し、地域と共に歩む教職員

II 経営方針

「知・徳・体」の調和の取れた人間性豊かな児童の育成をめざし、家庭・地域との連携を図りながら信頼される学校づくりに努める。

- (1) 学校経営計画（校長ビジョン）のもと、全教職員が力を合わせ、よりよい学校づくりに努める。
- (2) 全教育活動を通して、知徳体のバランスの取れた児童の育成に努める。
- (3) 一人一人の児童を理解し、大切にしていける教育の実践に努め、集団としての高まりを図る。
- (4) 郷土の文化や伝統を大切にし、世界に目を向ける子の育成に努める。
- (5) 開かれた学校づくり、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進する。

III 本年度の指導の重点項目

(1) 「志賀町学校教育モデル」の実践

(2) ICT教育（GIGAスクール構想事業）の推進

(3) 教職員の働き方改革の推進

(4) With コロナ社会における学校の新しい生活様式の実践

- (5) 組織的な学校運営
- (6) 確かな学力の育成（知）
- (7) 豊かな心の育成（徳）
- (8) 健やかな体の育成（体）
- (9) 家庭、地域との連携

IV 具体的方策

(1) 「志賀町学校教育モデル」の実践◎

- ① 「単元配列表」をもとに、単元デザインを核にした授業を行う。
- ② 志賀町学習スタイルを実践し、「ゆさぶり」等による「主体的・対話的で深い学び」を具現化する。
- ③ 日常の外国語教育、全学年でのプログラミング的思考の育成を図る。
- ④ キャリアパスポートを活用し、主体的に自己実現につなげるキャリア教育を推進する。
- ⑤ ふるさとに愛着と誇りを持たせるために、地域人材、各種団体、公民館とも連携していく。
- ⑥ 保小中連携事業を推進する。(保育参観、道徳授業、6年体験授業、学校保健委員会等)

(2) ICT教育（GIGAスクール構想事業）の推進

- ① ICTサポーター等を講師に校内研修やOJT等で、教職員のICT活用指導力を高める。
- ② 家庭でのタブレットの活用を推進する。(週末の持ち帰り学習)

(3) 教職員の働き方改革の推進

- ① 校務の平準化を図り、見通しを持ち仕事の優先順位をつける。
- ② 定時対校日の設定や最終退校時刻を目標に業務にあたる。
- ③ 校務支援システムを活用し、業務のデジタル化を推進する。

(4) With コロナ社会における学校の新しい生活様式の実践

- ① 健康観察を徹底し、保護者と連携し児童の安全に努める。
- ② 児童中心で行事の精選を図り、感染症対策を考慮し工夫した学習活動を実施する。

(5) 組織的な学校運営

- ① 教職員が組織の一員として役割を分担し、PDCAサイクルを回していく。
- ② 災害や事故、いじめ等の危機管理に関する研修を行い、教職員の対応力向上を図り、安全対策と危機管理体制を確立する。

(6) 確かな学力の育成（知）

- ① 学校研究と学力向上ロードマップと連携し、主体的に学ぶ子の育成を目指し、学力を高めていく。
- ② 帯タイムの「とぎっ子タイム」を組織的にを行い、基礎学力定着を図る。
- ③ 家庭学習の環境づくりを保護者と連携し、学校と家庭が連携して家庭学習の習慣化を推進する。

(7) 豊かな心の育成（徳）

- ① 全職員が一人一人の児童を大切にしていくなかで、生徒指導の3視点を生かした積極的な指導をする。
- ② 考え、議論する道徳授業を推進する。
- ③ 豊かな心を育むために、友だちのよいところを積極的に認め、自己有用感を高める。

(8) 健やかな体の育成（体）

- ① 1校1プランを実践し、年間を通してスポチャレに取り組む。
- ② 健康な体づくりへの保健指導を行い、けがの防止に努める。

(9) 家庭、地域との連携

- ① 地域の人材や教育資源の活用を積極的に推進する。
- ② 「早寝・早起き・朝ご飯」を推進する。
- ③ 学校教育活動を家庭や地域に積極的に公開し、情報発信に努める。

☆ 「関わる・気づく・つなぐ」をキーワードに前向きで持続的な学校風土を築く

- ① 互いを尊重し、「関わる」組織をつくる
- ② 感覚を研ぎ澄まし、小さな変化にも「気づく」組織をつくる
- ③ つながりを意識し、「つなぐ」組織をつくる